

## 14期 激動の幕末を読み解く トピックス(5月)

日時：5月14日(木) 10:00~12:00 教室：ONCC 豊中教室

講師：中村 武生 先生

内容：「天皇号の復活―「光格天皇」のおもしろさ」

- ①光格天皇践祚の経緯、外圧への幕府の対処、②禁裏御所消失、尊号一件での幕府の対応、③ラクスマンの来航と漂流民大黒屋光太夫一行の顛末

<今日のひと言>

- ・大黒屋光太夫の話はすごく興味深いものでした。
- ・昨年大河ドラマを観ていてよかったなと思いました。
- ・幕末に進んで行く1790年前後の出来事について、興味深く聞きました。

日時：5月28日(木) 10:00~12:30

講師：中村 武生 先生

テーマ：「幕末京都を囲った城壁・環濠跡を歩く―惣構土居堀」<講師同行探訪>

京都市営地下鉄北大路駅に集合、市バスで加茂川中学校前下車、講師から説明を受ける。御土居とは豊臣秀吉が荒れ果てた京都の都市改造の一環として1591年に築いた22.5kmの土塁。外敵の来襲に備える防塁と鴨川の氾濫から市街地を守る堤防として築かれた。

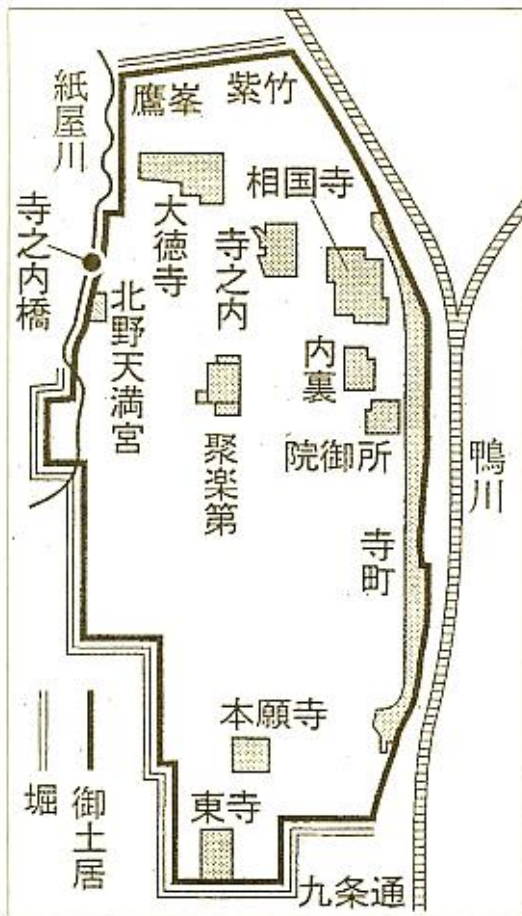
当初は土塁と堀で構成されていたが、その後の天下太平の世に堀はなくなり、現存する9カ所が「史跡」に指定されている。



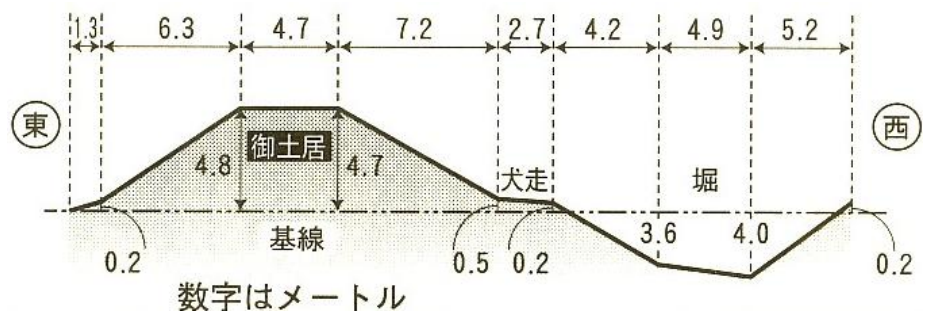
惣構土居堀跡の北東角(加茂川中学校そば)から西へ御土居跡を辿りながら歩いて行く。  
 途中、大宮交通公園でトイレ休憩し、玄塚下御土居に移動。交差点「玄塚下」で解散。  
 その後、班活動。



<豊臣期の京都>



<御土居断面図>



<今日のひと言>

- ・半日 御土居 御土居で、秀吉公の偉業を見ることができました。その影響が今も残るのが面白く、でき得る限り残してほしいものです。
- ・御土居なんてこの講義を受けなかったら一生知らないままでした。
- ・秀吉の造った土塁と堀は、いかに広大な規模だったのかと思ひ知る探訪でした。
- ・御土居を初めて見れてよかった。少ししか残ってなく残念ではあるが住民を考えると仕方がないかな。

(広報担当)